

平成23年2月28日
水産庁

水産物の市況について（平成23年2月及び3月）

—東京都中央卸売市場における平成23年2月（平成23年1月21日～年2月20日集計）の市況と、
平成23年2月の市況見通し（前月との比較）—

I 平成23年2月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量（水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計）は前月並みとなり、卸売価格（水産物全体の1キログラム当たり平均価格）は弱含みに推移しました。

II 平成23年3月の主要品目の市況見通し

「まいわし（生鮮品）」

入荷量は前月と比べるとやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。（主漁場は鹿島灘～犬吠埼沿岸、駿河湾～伊豆諸島周辺。）

「さけ・ます（塩蔵品・冷凍品）」

入荷量はチリ銀の原料、製品とも前月と比べやや増加すると見込まれるものの、需要はあまり変化がないことから、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「さば（生鮮品）」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。（関東のたも掬い漁が3月にピークを迎え、漁獲が増加している。主漁場の北部太平洋海域、九州西方海域は盛漁期が過ぎており、漁獲は落ちている。）

「するめいか（生鮮品・冷凍品）」

日本海側、太平洋側ともに徐々に終漁しつつあり、入荷量は前月と比べ減少すると見込まれ、卸売価格は強含みに推移すると見込まれます。

「あじ（生鮮品）」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。（今後、盛漁期を迎え、魚体も大きくなってくる。）

「まぐろ（冷凍品）」

入荷量は天候が回復したこともあり、前月と比べやや増加すると見込まれるものの、卸売価格は赤身類、脂身類ともに横ばいに推移すると見込まれます。

「かつお（生鮮品）」

入荷量は前月と比べ増加すると見込まれるものの、卸売価格は初物需要からやや強含みに推移すると見込まれます。

凡例（目安）

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み	横ばい
3～10	やや増加（減少）	やや強（弱）含み
11～20	増加（減少）	強（弱）含み
21～51	かなり増加（減少）	かなり強（弱）含み
51～	大幅に増加（減少）	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)
(単位:千トン、円/kg)

	2月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
23年	51	776	51	944	53	889
前年	53	760	52	915	55	847

注1: 入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。
注2: 入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主要品目の価格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	2月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	351	87	97	75
さけ・ます(平均)	690	97	117	115
(ぎんざけ塩蔵品)	683	100	101	106
(あきさけ塩蔵品)	444	105	98	110
(ときさけ塩蔵品)	849	101	105	122
(べにざけ塩蔵品)	1,050	100	115	119
(さけ類冷凍品)	675	98	122	120
さば(生鮮品)	407	84	104	93
するめいか(平均)	400	91	101	91
(生鮮品)	406	89	93	86
(冷凍品)	358	100	118	113
あじ(生鮮品)	379	77	82	77
まぐろ(冷凍品)	1,214	98	91	93
(めばち冷凍品)	954	99	94	108
(きはだ冷凍品)	745	99	99	104
(くろまぐろ冷凍品)	2,860	100	101	89
(みなみまぐろ冷凍品)	1,689	100	90	81
かつお(生鮮品)	1,021	79	124	103

注1: 品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2: 2月の価格は1~20日までの速報値。平年とは平成18年~22年の加重平均値。

注3: さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4: さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5: まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先: 水産庁加工流通課企画調査班
代表 03-3502-8111
内線 6617 中谷、小林
直通 03-3591-5612